

ふくい宇宙産業創出研究会公開セミナー 開催報告

(公財) ふくい産業支援センターでは、超小型人工衛星に関する情報提供や共同研究など、ふくい宇宙産業創出研究会の活動をととして県内企業の宇宙産業への進出を支援しております。今回は、「日本と世界における宇宙産業動向トピックス」という題目で公開セミナーを開催しました。

『令和5年度第2回 ふくい宇宙産業創出研究会公開セミナー』 概要

日 時：令和5年12月13日(水) 14:00～16:50

場 所：福井県工業技術センター 講堂

参加者：37名

主 催：ふくい宇宙産業創出研究会、ふくいオープンイノベーション推進機構

内 容：

- ・日本宇宙産業の現状と将来に向けた経済産業省の取組

経済産業省 製造産業局 宇宙産業室 室長補佐 平松 崇 氏

経済産業省の平松室長補佐から我が国における宇宙政策推進の取り組みが報告されました。関係省庁による宇宙基本計画全体図から、同省の取組みの方向性としての宇宙産業の成長促進と自立性の確保などが示されました。また、宇宙安全保障構想からの中・低軌道衛星の小型衛星群分野への経産省の注力や、中小企業イノベーション創出推進事業(SBIR)フェーズ3での取り組み事例なども説明されています。

- ・将来宇宙輸送システム実現に向けた挑戦

将来宇宙輸送システム株式会社 代表取締役社長兼CEO 畑田 康二郎 氏

将来宇宙輸送システム株式会社の畑田代表取締役社長兼CEOからは、畑田氏の経済産業省時代から同社立上げ前の経歴と実績、宇宙ビジネスの鍵としての「輸送手段」、米国動向、同社の事業戦略が説明されました。また、SBIRに採択された、再使用型衛星打ち上げ用ロケット設計開発計画や今後の構想に加え国際競争力の獲得手段などが説明されました。

- ・米国・欧州における宇宙産業動向(研究開発・ビジネス市場開拓)

帝京大学 理工学部 航空宇宙工学科 講師 鶴田 佳宏 氏

帝京大学鶴田研究室鶴田先生より、これまでの衛星開発やミッション設計とそれらに関わる環境試験、UNISEC(大学宇宙コンソーシアム) 活動や情報共有サイト、帝京大学でのTeikyoSat-4打上&運用活動や株式会社BULL設立などが紹介されました。

このほか、会議活動報告として、人工衛星設計基礎論2023実施報告、研究会活動のレビューと今後の計画や外部資金への対応方針に加え、県民衛星プロジェクトが全国知事会で優秀政策の表彰を受けたことを報告しました。



セミナー全景



ふくい宇宙産業創出研究会の活動報告

お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センターオープンイノベーション推進部 ネットワーク推進室 松井、岸本